

海外短信



～ 中国 ～

長春のタクシー事情

イイダ産業株式会社

飯田（長春）橡塑有限公司（略称飯田長春）はイイダ産業株の子会社で、2013年に設立されました。事業内容は自動車用防音材、補強材等の製造、販売を行っています。

皆様の中には中国へ出張され、タクシーを利用される方は多く見えますが、長春のタクシーのシステムはなかなかユニークです。今回はそのタクシー事情をご紹介します。

長春のタクシーは基本的に乗り合いはOKです（同じ道順が前提）。なぜなら、長春のタクシーの料金が安く、1人だけ乗せては割に合わない？との理由です（現地社員談）。

どれくらい安いかと言いますと、初乗り5元+1元の燃料サーチャージ(2.5KM以内)、2.5KMを超え、1KMにつき2元かかります（参考までに本日の為替レート1元=17.4円）。

この為、長春ではタクシーは既にお客さんが乗っていても、手を上げれば止まってくれます。運転手が目的地を確認、同じ道順であれば乗せてくれます。なので、この写真の風景が長春でよく見かけられます。道順が違えば、違うタクシーを捕まえれば良いのです。



このシステムの悪いところはラッシュ時、繁華街などで3～4人一緒のグループはなかなか都合良く空車のタクシーを捕まえる事が出来ない事です。夏なら気長に待てますが、冬の長春はマイナス20度まで下がりますので、早くタクシーを捕まえないと大変な事になります。

この安い乗り合いタクシーを利用するのに2つ前提条件が必要です。1つ目はある程度中国語が話せる事；2つ目はある程度長春の道が分かる事です（これが結構大事で、道が分からないと、遠回りされ高い料金を請求される事がある）。

皆様が長春へ来られる機会がありましたら、是非一度ご利用されてはいかがでしょうか？